丹波市こども計画(案)に対するパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

(1)パブリックコメントの実施期間

令和6年12月23日(月)～令和7年1月22日(水)

(2)ご意見・ご提案の応募者数及び件数

応募者数:2名 件数:3件

2 ご意見・ご提案に対する市の考え方

番号	該当頁	該当箇所	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
1	P63	2-2子育てを支える環境の整備	<p>子育て学習センターの各地域での運営により、地域内でつながりができ、孤立化することなく仲間と安心して子育てができています。一方で、出生率の低下と共に、子育て学習センターの利用者も減少してきています。子育て学習センター等の利用は積極的に行なっているが、一緒に遊べる友だちが年々減り、3歳を過ぎて自宅保育の息子は「友だちと遊びたい。」と不満げにしていることが多い。周りの子を見ても、3歳頃からは友だちとの関わりを求めており、集団生活ができる環境があることが望ましいと感じる。</p> <p>現在の丹波市では、満3歳児の1号認定での受け入れがなされていない。近隣の市町村では受け入れがされているという。子と親が望めば、誰でも幼児教育を受ける機会を満3歳児以上でも設けていただきたい。実際身の回りに事情があり働けないが子どもも預かってもらえず鬱病を発症してしまったという人がいる。3歳の子を持つ親の話である。2026年実施予定の「こども誰でも通園制度」においても対象は「0～2歳の未就園児」であり、こども家庭庁としても満3歳児以上は幼児教育を受けて然るべきという考えなのではないか。丹波市においても早急に対応していただきたい。</p>	<p>全国的に保育人材の確保が課題となっており、本市においても同様の状況です。このため、現時点では満3歳児の1号認定の受入れの実施は難しい状況です。</p> <p>ご意見はこども園と共有し、今後の取組の参考にさせていただきながら、計画書P64「2-3 福祉人材の確保」に記載している取組を推進し、多様なニーズに対応できる環境の整備に努めます。</p> <p>なお、保護者の都合により、こどもの保育が難しい時には、一時預かり事業を認定こども園等で実施していますので、ご利用いただくことが可能です。</p>
2	P62	2-1保育環境の整備	<p>保育環境改善等事業について、こども園の感染症等にかかる登園停止事務処理の見直しを図っていただきたい。</p> <p>登園が医師の診断が必要な内容については現行でよいと思うが、基準が示されていることについては、完治後、登園届の提出を不要にいただきたい。医師の診断が必要なことは、発行手数料が発生すること等、保護者にとって負担があることから改善を図っていただきたい。</p>	<p>ご意見については、本年度から一部内容の見直しを行っています。引き続き、こどもや子育て当事者が安全・安心に保育サービスを利用できる環境の整備に努めます。</p>
3	P62	2-1保育環境の整備	<p>こども園のバス管理、維持について保護者負担軽減を図っていただきたい。現行は、登降園での利用の有無に関わらずどのこども園でも負担対象になっているが、生活が厳しい等、様々な家庭があることから負担が軽減されるよう、丹波市でこども園のバス管理、維持が出来るよう補助されたい。</p>	<p>すでにバスの運営費等にも活用できる補助金を運営法人に交付しています。</p> <p>引き続き、こども園の運営に対する補助金については、運営法人とも協議しながら検討し、保育環境の充実に努めます。</p>